

同窓会長 梅沢 仁

ごあいさつ



完成した同窓会館

同窓生の皆様にはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。平素本会発展のために、格別なるご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、平成五年度児玉高等学校同窓会総会が四月二十五日母校に於いて開催、上程議案は全て満場一致にて承認されました。

会運営の大きな柱として会員相互の親睦、母校発展の支援、三番目に地域社会発展に寄与することを掲げております。そして、会活動を推進するため、各委員会が活躍しています。記念事業・育英・親睦・広報・組織・母校ルネサンス委員会の夫々のチームプレーであり、チームワークであります。

同窓会事業も確実に進行しておりますが、その中でも最大なもの、母校創立七十周年記念事業の一環としての同窓会館建設であります。同窓生の皆様には、この趣旨をよくご理解下され、早速多額のご寄付、ご芳志をお寄せ下さい

時の針

行 同 窓 会 仁
 高 校 同 窓 会
 児 玉 高 校 同 窓 会
 会 長 梅 沢 山 410
 事務局 児玉町八幡山
 県 立 児 玉 高 校 内

ました。茲に、満腔の感謝をこめて、衷心より厚く御礼申し上げます。時は違えど、同じ学舎を巣立った同窓生の母校を想う熱い心と、後輩の健全なる育成に情をこめた、思いの強き善意でありましょう。

次いで七十周年記念誌の発刊を期して、目下作業に取り組んでおります。ご協力下さいました各位に心より御礼申し上げます。今秋の完成をご期待下さい。

今、PTA・後援会・同窓会はお互いに学校と連絡、連携しつつ、児玉高校の発展を期して励み合っております。

地域に根ざした、地域に愛される学校、特徴ある個性のある学校に進展するよう応援しています。

体育コースの充実発展、生徒の進路実現、地域社会との関連、施設設備の充実と考えられる課題について支援して行くことが大切であります。

この度、本会発展のために、そして七十周年記念事業推進のために、多大なるご尽力を賜りました島田道郎校長先生が県立松山高高等学校長としてご栄転になられました。ここに感謝申し上げます。これからの活躍をご祈念いたします。

後任に関口善行先生が新校長としてご赴任なさいました。ご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

又、本会発展と母校隆昌のため永年にわたり、多大なるご貢献を賜りました役員の方々が任期によ

りご退任なされました。数々の功績に対し、心から感謝の意を表明させて頂いたいただきます。

ところで、本年は母校創立七十周年記念事業総仕上げの年でもあり、今秋には、記念式典の挙行も計画されております。立派に完遂されますよう、同窓生心を一つにして確実に、そして着実に進んで行きますよう。

終りに会員各位のご健勝と会の発展、併せて母校の益々のご隆栄をご祈念申し上げて、お願いとごあいさつにさせていただきます。

平成4年度事業報告

- 4月26日 総会 於母校(77名)
- 役員会・懇親会も開催
- 7月1日 『時の針』第8号発行
- 全会員へ送付、同時に同窓会館建設資金の募金活動開始
- 9月25日 中高連絡会 於本庄市
- 埼玉グランドホテル(64名)
- 旅行会 於信州別所温泉(35名)
- 11月21日 同窓会講演会 於母校
- 講師 倉林昭美氏(高校第15回卒業)
- 2月13日 新年会 於本庄埼玉グランドホテル(77名)
- 3月6日 入会式 於母校 会長
- 8日 ほか役員出席

再び

児玉高校へ

校長 関口 善行

天を突く杉の巨木、新装成った体育館、建設中の同窓会館(トレーニングセンター)、校内狭しと活動する生徒のエネルギー。久し振りに眺めた児玉高校は、七十年の伝統の上に時代とともに歩む活発な教育活動が展開されておりました。

実は私は、本校に八年五ヶ月勤務し昭和五十九年八月に他校へ転職致しました。そして再び本校に四月一日付で着任致しました。本当に、「わが母校にもどった」という気持ちでいっぱいです。その間同窓会からは、「時の針」をいつも送っていただいておりますので、児玉高校の動きや同窓会の皆様の動静は手にとるようにわかりました。厚く御礼申し上げます。また、七十周年の一大事業につきましましては、同窓会の皆様には、満場一致の御賛同を得、物心両面にわたり御協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

高校教育は、一律に行う教育から、学校毎に特徴を出し、個々の生徒に合致した教育を行うという方向へ変化しております。多様な

生徒の全てが自己実現できることが、今の高校教育そして児玉高校の教育の目標であります。一万七千余人のすばらしい先輩が本校を卒業されたということは、在校生にとつて大きな誇りであり、皆様の御期待に心えられるような発展する児玉高校になるよう、職員・生徒一丸となって真剣に取り組んでおります。今後とも一層の御協力をよろしくお願いします。

「部活紹介」

女子サッカー部

会員の皆さん今日は、女子サッカー部です。創部は昭和五十九年、同好会として発足、昭和六十三年、部に昇格し、現在に至っております。部員数は、30名、町営サッカー場をお



新しい制服

借りして練習に励んでいます。女子サッカーは、近年急速に普及し、少女リーグもでき、関東大会も開かれています。高校でも、昨年より、全日本高等学校女子サッカー選手権大会が開かれるようになりました。六月の三・四日、九・十日、本庄第一高校、本庄北高校、深谷市の仙元山陸上競技場で関東大会が開かれました。

県内の高校チームは十数チームあります。今年のチームは、二月の新人大会ベスト4、五月の学校総体ベスト8でした。惜しくも松山女子高校に一点差で敗れ、関東大会出場はなりません。チーム数はまだ少ないが、埼玉県のレベルを上げようということで、各チームが競い合い、協力しあっています。(全国大会の代表は全て埼玉県内のチームでした) このような中で、児玉高校の女子サッカー部も頑張っています。入部してくる生徒は皆、初心者です。基本的な練習の繰り返しや、一試合走り切れる体力の養成など地道に努力しています。ここ二年間、仲間が多く、練習もにぎやかで、成果もあらわれてきました。

県内の仲間と共に競い、お互いのレベルを上げてゆこう。

さらにその中で、自分たちを高めてゆこう。そう思っ頑張っていきます。

信州のかまくら

古塔と旧き面影を訪ねて

高校5回卒 萩原 泉

九月二十五日(土) 親睦旅行で歴史といで湯の里、北国街道海野宿と別所温泉を訪れる。一行35名、バスで高校を出発。下仁田→コスモス街道佐久平を車窓に、カラオケに耳を傾け懐旧談にはながさく。

小諸に入ると、駅前の食堂で本場信州そばをいただき、寛いだ雰囲気の中で快い一刻を過ごす。北国街道宿場町海野宿に入る。街道の中央に小川が流れ、伝馬屋敷六三、本陣一、門屋一、庄屋二があり、苔むした瓦、海野格子とうだつに特徴がある。私達の他には殆ど人影もなく江戸時代にタイムスリップ気分。

再びバスに。車中、教養大学講座「頭の体操難解駅名クイズ」開講。楽しく親睦を深め別所温泉着まず善光寺と向かい合い建てられたといわれる北向観音へ。境内には護摩堂、愛染堂、絵馬堂、薬師堂などが点在する。また北原白秋花柳章太郎の句碑、縁結びの霊木愛染桂も目につく。少し離れて常

楽寺の石造多宝塔(重文)、安楽寺の日本に残るただ一つの唐風八角の塔(国宝三重の塔)を見学、バスへ。三つの外湯(入場料五〇円)もあり一フロ浴びてこられた方もあった。

静かな高原の湯の里に多くの心を残しつつ帰路に着く。帰りの車中は演芸場に早変わり。デュエット曲を一人で五役(ものマネ)でこなす芸達者に抱腹絶倒。全員合唱の広がる親睦の和。楽しい一日をありがとう。

同窓会名称

「雉岡会」に決まる

平成5年度の同窓会総会に於いて、同窓会名称が「雉岡会」と決まりました。以前より「同窓会」と言うと、卒業生全体の同窓会と各卒業回の同窓会の区別が分りずらい」との意見があり、「時の針」第6号で皆様に、愛称のご応募をお願いしました。その結果、雉岡会・雉友会・はなわ会・雉岡クラブ等、多数いただきましたことを感謝申し上げます。

選定のため、機会ある毎に慎重に協議を重ねてきましたが、母校の歴史と伝統に恥じない、親しみやすい名称ということで「雉岡会」に決定しました。母校の活性化を願ひ、会員相互の親睦を深め、更に同窓会が発展しますよう、今後ともご協力をお願いいたします。

平成5年度 教職員人事異動

(敬称略)

〔転出・退職〕

校長 島田道郎 松山高校
教諭 石井敏雄 鴻巣女子高校
" 沢崎久美子 大宮武蔵野高校
" 柳橋高夫 小鹿野高校
主任 神倉千秋 深谷商業高校
主事 柴崎成美 熊谷高校
教諭(定) 高橋均 寄居高校

〔転入・新任〕

校長 関口善行
教諭 岡屋義之・上村郁也
非常勤講師 井口茂夫・関根光好
主任 新井光子
主事 柴崎優子
教諭(定) 柴崎茸津子

本部役員と理事

相談役 吉川 幸男・林 喜一
顧問 田島 敏包
会長 梅沢 仁
副会長 井上 悟子・小林 俊雄
理事 武田 広研・貫井 公博
幹事 根岸 俊一・松本 一夫
立花 勲・石坂 清
高木 清憲
石井 敏郎(幹事兼任)

監査役 校内理事 理事

高橋 俊子・坂本 文江
大木 馨・山崎 泰彦
鈴木 要子・吉田 節子
新井 初枝・志村 孝子
萩原 泉・小島 満江
福島 興・高橋 正弘
持田 勝男・田口 照代
吉田 トモエ・四方田 修一
南 正・茂木 賢
鈴木 くにゑ・間正千代子
根岸 義守・江原スミ子
茂木 節子・倉林 秀美
秋間 喜代子・荒巻 恒好
中村 伸・荒井 一夫
中林 都明・岩崎 勲
新井 洋児・小林八重子
高柳 和夫・栗原 幹雄
吉田 豊彦・鈴木 政弘
本藤 正寿・熊倉 清治
桜井 直子・新井 一紀
出牛 幸平・木村 葉子
渋谷 正敏・久保佐代子
浅見 透・神岡 和年
安齊 彰・峯岸 芳江
増田 民子・内山みつ江
早野由紀子・沖村 良子
沢本美喜雄・角谷 清子
桜沢 克幸・岩上 高男
堀越 久夫・岩丸 彰男
田島 勇八・黒沢 洋子
田山 尚志・武内 順子
脊山 弘行・小林 修
阪本 知教・川上 守之
小島 和絵・福島 慎治
塚本 勇一・金井 保夫
塚本 隆明・中村 晴美

理事

小倉 正貴・田島 優子
高木 弘之・秋山 和広
落合 崇志・芳野 勇
松田 吉司・石川 克彦
土屋 智子・前川 章
松島喜久保・飯野 晴美
長谷川志野夫・細田 明
田村 昭子

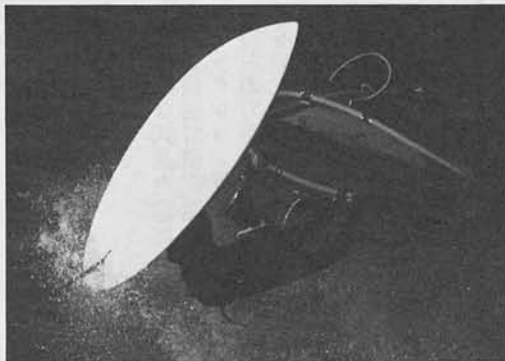
第40回

二科会写真部 入選

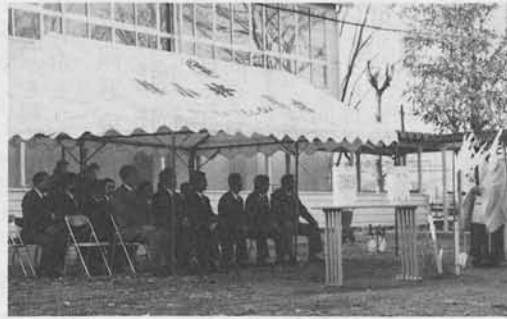
浅見 透氏(高校第19回)

題「ジャンプ」

浅見氏は、理事で広報委員会委員でもあります。



祝 母校創立七十周年 記念事業進行中



同窓会館建設地 地鎮祭

母校は平成四年に開校七十年を迎え、PTA・後援会・同窓会・学校の四団体が、創立記念事業を実施するため、実行委員会を組織して計画を進めております。
同窓会も会員各位のご協力をいただき全力を挙げて応援しており、今秋の記念式典にむけ、記念事業の総仕上げに入っております。
現在までの進行状況をご報告い

たしますとともに、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一、同窓会館(トレーニングセンター)建設

◎場所 体育館北側

◎鉄骨造平屋建四三〇平方メートル

(玄関・会議室・資料室・トレーニング室・便所)

◎工期 平成4年12月21日から平成5年5月31日まで

◎建築工事費 七千万円

◎施工 児玉町 柳小林工務店

◎設計監理費 三百万円

◎設計 本庄市 柳建築設計事務所

監理 所 都市工房

建設資金については、同窓会が先頭に立ち、募金活動を実施(現在までの状況は6ページに記載)なお、平成6年3月31日まで期間を延長し、募金活動を続けていますので、まだ募金をされてない方は、同封の振込用紙にてご送金下さるようお願いいたします。

二、記念誌発行

◎体裁 B五版 四百ページ
◎内容 児玉高校七十年の歩み・写真で見る七十年・卒業回毎の手記・旧教職員の手記等。特に県立女学校までの記録を重点に掲載

記念誌は、限定発行(平成5年11月)のため、会員各位で購入をご希望の方は同封の振込用紙にてお申込みをお願いいたします。

記念誌代 三千元(送料共)

三、記念式典挙行

◎平成5年11月16日(火)
◎母校 体育館

具体的な式典内容については、実行委員会にて現在協議中ですが、アトラクション等にアイデアをお持ちの方がいましたら、ご連絡をいただければ幸いです。

記念事業の問合せ先(事務局)
☎〇四九五(七二)一五九一
児玉高校内 石井・高木まで

サッカー部の指導を回顧して

落合明弘

(前号よりの続きです)

ラインを引き、ボールの点検をし、自分のスパイクの手入れなど、放課後直ちに練習ができるよう準備に万全を期した。この毎日の談笑と準備はチームワークの上に有意義な効果をあげた。

大会地の事前視察

チーム出発予定表と同一行程で大会地の事前視察にコーチを派遣し、大会事務局を介して、(1) 宿舎について、その所在地と付近の状態、大会期間中の他宿

和の精神を強調
1973(昭和48)年新入部員を迎え練習も活気が満ち溢れていた。その当初全部員を集め全国大会出場の目標の一助に、聖徳太子の憲法17条の「和を以て貴しと爲す」を詳しく説明した。
部員は話し合いの場を日常生活の中に求めようと努力し、雨天の日を除き昼食時には全員ゴール裏の草原に昼食持参で集合し、和気藹々の中で食事をとりながら談笑し、ある者はグラウンドの整備をし、

泊者の有無、部屋数と部屋割り、食堂、風呂場の大きさなど調査をし、丁寧に宿泊を依頼した。(2) 会場を巡回し、各会場の土質、水はけ、風向き、太陽の位置、芝の状態、コートと観覧席の距離などのデータを整理し、その様子を全部員に伝達した。そのため部員一人一人がすでに大会地の状況を熟知することができ、精神的に安定し効果を挙げ得た。(3) 部員を分宿させた。登録選手班と一般部員班に分け、各々宿舎を異にするのである。地域大会から全部員を引率することにして、時に喧騒となり選手以外の部員は休養時に雑談にふけることがあり、選手の試合後の休養、健康状態の視察、食事の状態、伝達事項の徹底など、あらゆる点で分宿は有効であり、両班は会場において落ち合い練習にはいったのである。

惜敗につながった一こま
1975(昭和50年)初出場の選手権大会の準決勝戦、児玉一帝京に於いて、児玉スイーパーを意図的に攻撃に参加させた。彼は敵陣深く持ち込み、リターンパスを受けてシュートをするのが常であったが、そのリターンパスを敵にカットされ一瞬にして猛反撃を受け、帝京ORから中央に折り返したところILにすかさずゴール右隅へきめられた場面は、今も忘れられる

とが出来ない。 菲崎大会の組み合わせを手にした指導陣はベスト8どまりかと話し合っただけで出陣した。2回戦 児玉一西目農高(秋田)で両チーム共に動きが活気が満ち、パスミスも少ないが最後のシュートをするまでに至らず、両チーム唯一一本児玉ORのシュートが得点に結びついた。この試合を契機に調子は向上し決勝戦、児玉一菲崎となった。選手はここまで勝ち進んだので、もういいとの安易な気持ちと指導陣の出発前の気持ちの二者を拭うことができなかった。

選手層の移り変わり
選手の主体は児玉中学校出身が大多数を占めている。県民体育大会で優勝したのを機会に、秩父市内中学出身者が、片道一時間三十分以上かけて通学し入部するようになった。また上里中、長瀬中、三ヶ尻中など各地からの通学者が増加し、児玉中の個人技に加えて走力を身上とする異質の技術が融合して、より高度なサッカーを修得することができた。

そのためチーム編成も一つの理想である、3年生6名、2年生43名、1年生251名と翌年も考慮した編成になった。しかし県内の高校志願の学区制が改変され小学区制になり、隣接の秩父郡市から志願書提出ができなくなり、本庄児玉郡市を中心とするサッカー

実施の5校からの入部希望者で、チームを編成しなければならぬ状態となった。 また中学校では高校入学に際して偏差値を考慮する結果、例を児玉中学にみると県北7高校に26名が分散入学し、チームの中心となって活躍している。平成3年度第70回全国高校選手権大会群馬県代表、前橋育英高校20名の登録選手に本庄児玉郡市出身者が9名も名前を連ね活躍している。



四年度体育コースが新設された現在各部に優秀な技術を持った選手が入学したと思われ、34年後は各部が最高の戦績を上げることが期待している。

高校サッカーを指導して28年間のサッカー中心の生活を回顧してみる時、常に目標に向かって立派な選手の育成を願ひ努力してきた。目標達成のために指導者コーチが一心同体となって、「やる気を持つこと」と、選手に「やる気を起こさせる」ことが一致しないと、良い成果はあがってこない。一方、愛情と情熱を持って選手が今何を望んでいるかいち早く察知し、それに適応した雰囲気を作り、意欲を持たせ自信をつけさせることが大切である。

指導者は学校の授業、校務分掌など数多くの業務を担当している現状では、サッカーの指導にのみ専念することはできないので、必然的に勝つための精神面と技術、体力、戦術面とに区分し、両者が常に密接な連携をとりあい、人格の形成と技術の向上に努力した。最後にサッカー指導者の若きご夫婦の訪問を受けることがある。時には奥さんに「サッカー木一人」の気持が必要なことを話に出した。試合は土曜日、日曜日に組まれる。年間百試合位は行うであろう。一般家庭のように一家団欒、家族旅行など皆無の状態におかれるので、家族の理解と協力なくしては指導に専念できない。また選手は家庭生活をおして協調と支援を得てこそ、目標達成の悲願も困難ではないだろう。

町田とみ子 飯塚 並木
高橋喜美子 飯塚 美津
大島れい子
吉田 福子
井口 高子
横関 初
鈴木登代子
金沢 サイ
関口 ヨシエ
茂木 城子
矢那瀬光枝
野口美代子
新井ひろ子
円岡喜美代
丸山 悦子
丸橋 米子
田端 春江
菊池百合子
角田あゝ子
持木 キョ
沢田 亀美
太田 静子
茂木 幸子
丸橋 米子
江口伊代子
石川 久子
小原マツ子
金井千代子
伊豫部和子
田淵八重子

女 11 32名 320

飯塚 美津
並木 松乃

坂本リウ子
福田金子
山口みね子
笠原 玲子
立石 玲子
堀口 いづ
荻原喜代子
高宮 住子
吉井 敏子
岡田 治子
牧野ノブ子
荻野マサ子
小埜 ソノ子
駒井ソノ子
大島 君子
加藤千江子
宮崎 吉江
分須 泰代
家弓くめ子
田島 幾子
水沢美都恵
渡辺 キク
坂田 シツ
原田美代子
佐々谷光子
針ヶ谷光子
小田 静江
松本美枝子
飯島美智子
関根 フサ
星野ひろ子
丸根 ひろ子
田中八重子

女 12 34名 360

栗原多美子
平 ソメ子

浅見 エツ
吉田 和子
青木 千代子
松村 俊子
橋田 昭子
平野 昭子
川富美子
小林 サワ
井口 寿江
萩原 のり
武井 敬子
大島 フサ
高杯 和子
増田 馨
春山 よし
春山 みい
小林富士子
梅沢かほる

女 14 23名 1,280

松田すゞ江
飯野シツエ
関和イクエ
遠藤ユキ子

田村ミチ子
小松マサ子
渡辺 千歳
大家 芳枝
相馬 聰子
川富美子
小林 サワ
井口 寿江
萩原 のり
武井 敬子
大島 フサ
高杯 和子
増田 馨
春山 よし
春山 みい
小林富士子
梅沢かほる

女 15 46名 525

中野キヨ子
久田美千代
古川 益子
根岸 節子
村田 悦子
川井 芳子
海北 八重
高野 常子
坂本 和子
今井よしえ
滝沢 光恵
引田 巖
岩田 知子
堀 喜久江
田中 たか
田中 静江
田中 マツエ

柊原 16名 40
松子 40
齊藤すず美子
坂元 昭子
新井 敏子
外山 きよ
宮下美喜子
田端 豊子
斉藤鶴子
須藤テル子
内田美津江
福本智重子
白石千恵穂
長滝 光代
牛山喜久枝
田口 富重
山田 政子
逸見 ミヤ
森 秀子
佐藤 房江
糸賀き乃枝
福島多喜子
根岸 富江
木村 絢子
福島 順子
内田 明子
丸山 幸子
渋谷 とよ
佐藤美恵子
新井 恭子
日向 えき
入 和子
荒木 文子

町田 富子
野沢 春子
飯野 文江
清水 康子
島田 てる
高木 トメ
堀口チエ子
関口 すみ
岩崎 法子
福島二三子
前川千恵子
根岸千恵子
杉田 敦子
中久よし子
小沢 元江
大島 道子
坂本 滋子
山本 富子
坂本 文江
小池 節子
山下 春江
山下 春江
水落寿代子
斉藤 静枝
久保田恵津子
田村美紗子
田村 文恵
黒沢 和代
吉田 富子
木村和加子
橋谷すみ子
福島 恒子
江川あさ江
高山 尚子
中村 百子
和久田トシ子

女 18 26名 430

原田 茂子
布施 米子
宮村 房子

鈴木 久子
大久保和子
島田 久枝
併 10名 93
中 1
高 2
高 5名 60
五野上靖子
竹内美代子

女 19 20名 205

矢代登喜子
渡辺 好子
西口八重子
吉田シゲ子
吉田 歌子
吉田 茂子

新井美智代
田端トヨ子
今井英美子
定 1名 30
別 3名
高 2
高 5名 60

女 17 4名 35

高橋カツ子
高矢 愛子
高橋キヨ子
植岡キヨ子
新井 和子
木村 満代
清水 弘子
立花 京子

竹内美代子
五野上靖子
高 2
高 5名 60
永田 重子
橋本 順子
野口多喜子
早野 和子
酒井 正子
杉山 利子
高 1名 70
高 6名 70

女 20 26名 430

高橋美ち子
梅沢 仁
宮寺 美津
飯島 富枝
吉田 達子
戸口 秀子
久保田喜久江
大場 信昭
内藤 久子
高 3
高 112名 2,815
秋山 菊枝

新井美智代
田端トヨ子
今井英美子
定 1名 30
別 3名
高 2
高 5名 60

女 19 20名 205

高橋カツ子
高矢 愛子
高橋キヨ子
植岡キヨ子
新井 和子
木村 満代
清水 弘子
立花 京子

竹内美代子
五野上靖子
高 2
高 5名 60
永田 重子
橋本 順子
野口多喜子
早野 和子
酒井 正子
杉山 利子
高 1名 70
高 6名 70

女 17 4名 35

高橋美ち子
梅沢 仁
宮寺 美津
飯島 富枝
吉田 達子
戸口 秀子
久保田喜久江
大場 信昭
内藤 久子
高 3
高 112名 2,815
秋山 菊枝

平野俊久	村田清野	高柳傑	小林美佐代	佐野紀	宮前典子	渋谷正富	作美光久	貫井洋子	清水礼子	清水敏夫	浅香利夫	荒卷栄子	子安七重	笹川紀枝	山田樓子	荒巻恒好	山崎由記子	森田峯好	小池喜久代	深谷紀久枝	中原光則	田辺茂一	本木茂子	柿原万里子	矢野敦子	宮崎紀子	渋谷泰一	清水信行	島田春代	桜沢芳子	山田三千代	金子幸恵	浅野幸子	桜井幸子	今井青史																																																																																																																																																																																																									
高12名	高13名	高14名	高15名	高16名	高17名	高18名	高19名	高20名	高21名	高22名	高23名	高24名	高25名	高26名	高27名	高28名	高29名	高30名	高31名	高32名	高33名	高34名	高35名	高36名	高37名	高38名	高39名	高40名	高41名	高42名	高43名	高44名	高45名	高46名	高47名	高48名	高49名	高50名																																																																																																																																																																																																						
金井美代子	大島節子	島田享	福島健	森芳枝	高60名	高660	木村功	上森秀次	荻野栄次	田島ミチ子	鈴木義嗣	久米規夫	秋山トモ子	若林君子	佐々木カツ江	ト部靖夫	四宮由紀子	町田クニエ	中野弘	戸森則文	蓮舎義史	清水幹雄	津久井寿子	倉林伸夫	中野都明	岡野安正	鈴木淳子	飯島和夫	立花桂	荒井一夫	高24名	高250	石井敬一	岡本雅範	金子利男	丸岡枚子	山本修	武井昭子	笠原従子	井上照子	玉城美智子	柳田恵美子	川鍋恵美子	牧島万子	矢内靖子	中島靖美	佐々木勲子	長谷川保子	野沢公代	岩片満彦	新井一男	ト部義子	堀口斌子	清水美智子	村松桂子	小林八重子	川口豊美	堀越嘉子	新井洋児	関根透	佐野俊子	岩井利子	神岡勝彦	水谷和美	木村素子	松浦シゲ子	新井孜	秋山順子																																																																																																																																																																								
山中道子	内藤昌義	大木崇	高橋君枝	真尾文男	飯島一雅	池田和男	八代幸枝	福嶋哲哉	樋口光雄	中畝英正	浦部和子	近藤和子	高15名	高165	齊藤博美	室橋千代子	上石かつ乃	村田静江	新井米子	江口令子	福島富喜雄	沼尻幸雄	石田春子	中村清美	浅見延栄	茂木溥子	古屋睦代	井上実	秋元怜子	中敵千恵子	杉山勝躬	松本サダ子	山崎豊子	飯島博二	宮崎秀夫	高15名	高295	田島栄香子	桜井勝年	宮下文子	飯塚紀子	清田美智子	高16名	高200	末永征子	河瀬稠子	大瀧幸子	小茂田富雄	井上エイ子	島野信美	山中タマエ	上田勝彦	多胡侑子	田村信子	平山悦子	清野道修	堀内巨史	押内由美子	杉山邦子	鈴木昭夫	大花昭雄	浦和智蔵	倉林昭美	大関秀雄	尾崎美代子	恒木富子	吉岡典之	松井きの枝	村木延夫	根岸忠義																																																																																																																																																																						
丸山万喜	平岡良蔵	関口純子	江原ヨシ子	市村米子	原田幸枝	天田美登里	黒沢光男	森山宣子	田中照子	飯島正延	田島政弘	鈴木実	中兼三代子	鈴木卓佳	渡辺安夫	桜井直子	熊倉清治	根岸茂雄	高17名	高868	森節子	中林久子	栗原幹雄	松本俊子	黒沢敏明	木村進	尾崎美代子	恒木富子	吉岡典之	松井きの枝	村木延夫	根岸忠義	宮谷和彦	岩片百合子	関根和久	池田隆	目田隆子	野口登志子	設楽典子	小池静子	村上久子	設楽保雄	興津千代子	井上喜美代	高橋英子	坂田昇	桑島富美子	小本哲也	小林和男	金沢恵美子	小野暁美	渡辺輝雄	原田知代子	折茂晃子	小林アサエ	荒井里子	羽沢栄子	沢田和代	中林昭	小喜喜久代	丸橋トメ子	塩原芳江	岩崎みどり	久保良	富永昭子	落合一美	茂木君	鈴木憲司	高18名	高1,005	本藤正寿	武藤肇	瀬戸忠	菅沼英子	笹島カ子	渡辺ナカ子	藤原良子	今関政江	小林晴江	鹿島佐和	倉林幸子	長谷川峰子	永沼邦江	高橋世津子	栗原昌子	田村幸江	都丸昌子	飯島貴美江	柴山貴子	糸井町子	新井静子	鈴木博子	大木重雄	松下止子	関根隆	池田隆	目田隆子	野口登志子	設楽典子	小池静子	村上久子	設楽保雄	興津千代子	井上喜美代	高橋英子	坂田昇	桑島富美子	小本哲也	小林和男	金沢恵美子	小野暁美	渡辺輝雄	原田知代子	折茂晃子	小林アサエ	荒井里子	羽沢栄子	沢田和代	中林昭	小喜喜久代	丸橋トメ子	塩原芳江	岩崎みどり	久保良	富永昭子	落合一美	茂木君	鈴木憲司	高19名	高545	福島吉彦	須藤義秋	桑原敬子	今村敏子	富岡利子	中島富夫	北條茂	長谷川静江	長岡令子	柿沢和子	落合和美	関口ゆり子	関口真清	手島享子	清水幸枝	川田知恵子	堀口テル子	設楽美智子	須永尚子	斉藤和子	曾根皖	清水成雄	新井豊久	菊川登美江	中島久栄	横山岩子	栗原岩子	遠藤あい子	広野和雄	古沢貞治	根岸道子	永尾恒久	小川節子	新井元子	伊藤憲司	浅見博	原一夫	井古田満江	吉野美智子	市川ハツ子	高柳京子	本郷良子	高橋美恵子	出生喜代美	白石房雄	山田良一	野口妙子	泉きみ江	八須弘幸	福島三枝子	川部善夫	中田猶治	中田尚己	内田啓次	浅見豊子	根岸晃	岩本成子	田中律子	根岸幸子	岸章代	吉田百合子	新井春美	大野素彦	倉林澄江	塚越二男	平井澄子	出牛幸平	大久保雅子	立花保子	新井一紀	木村葉子	高19名	高545	大島徹治	大木亥織	山田守	小茂田日出子	朝川昇	町田順一	田島和年	神岡哲男	荒井好江	会沢幸子	吉田栄美	戸森栄治	関根ふみ子	立川博通	金井やよひ	新井美代子	吉田みどり	坂爪とし子	金子昭一	野中みどり	飯島勝己	浅見清治	吉川透	高19名	高545	小林貞一	麻生幸江	松崎俊江	村上貞治	江原孝	前田房江	吉田美恵子	小川登志恵

飯島 沖村 山田 高 20 30名 370	坂井 富美 隆	久保 範子	今井 賢太郎	堀口 加代子	野口 清美	角田 あき子	岡村 初江	中林 薫	新井 千恵子	柴崎 明代	立花 文江	谷崎 喜久子	谷岡 文江	問々 田良子	小賀野 順	橋本 長一	奥沢 とし子	小島 誠一	荷田 政雄	今城 ゆき子	藤井 節子	塩原 裕子	武政 國利	廣田 愛子	木田 直道	吉田 絢子	志田 博子	堀越 久夫	堀越 久夫	清水 幸枝	角谷 清子	高 21 61名 550	岩上 高男	中畝 定子	小林 礼子	武田 真由美	倉林 政子
徳世 上坂 新井 新井 橋本 下 持 岡 秋 根 赤 姥 持 中 黒 立 関 石 阪 武 吉 高 22 43名 455	福島 正昭	渋沢 秀美	戸矢 三樹男	八木 茂	加藤 久雄	北林 節子	田端 喜久子	清水 洋子	木村 雅	中原 和夫	高 22 43名 455	吉川 英治	武内 順子	阪本 安秀	石川 正樹	関口 美恵子	黒石 三子	立石 洋子	中村 文男	持田 フミ子	姥名 保子	赤岩 蕪江	根岸 豊	秋野 勉	岡部 悦子	持田 清十郎	下 山 清 優	橋本 菊江	新井 千代子	新井 千代子	新井 千代子	上坂 素子	徳子				
野口 岡田 新井 井上 荻沢 永尾 阪本 石坂 川上 脊山 高 23 29名 470	笠原 恵子	鈴木 文子	福島 秀雄	中田 芳子	田島 弘行	茂木 仁博	平野 辰雄	野村 久雄	畑中 恵美子	白石 三枝子	井上 満智子	神久 文江	瀬下 初子	田島 典子	新井 悦子	小林 修	片山 光江	榊原 幸江	松村 富士雄	宮崎 ひろ子	細川 好江	高 23 29名 470	脊山 知教	川上 守之	石坂 清	和 絵	清一	文子	貴子	秀文	良政	和子	孝子				
成田 柳 野 桜 荻 橋 福 福 花 高 黒 畑 根 高 24 14名 165	根岸 光久	松島 伸一	塩原 千恵子	小 鹿 野 益 子	関口 玲子	入 公 平	岩上 高男	榊本 美知子	黒沢 喜吉	小原 春子	笠原 春子	出牛 まゆみ	持田 かおる	島田 由美子	木村 由江	内藤 寿美	森田 初美	同期 会 開 催	高 24 14名 165	根岸 寛	畑中 弘之	黒沢 貞雄	高橋 園子	花形 俊	福島 慎治	昌 弘	真 弓	昌 平	貴子	秀文	良政	和子	孝子				
谷矢 田島 高 27 10名 115	飯島 誠	関口 裕美	富田 由雄	西村 節子	富岡 照雄	坂本 伸一	瀬下 町子	松浦 智重子	江森 清之	根本 武	小林 秀行	清水 正子	富田 貴代美	上田 八千代	榊田 百合子	金田 悦子	矢島 千鳥	浜野 道子	鈴木 幸治	高 26 10名 95	安達 修司	小幡 正	小林 修	田島 敏子	飯野 政江	盛田 昇一	平野 恵子	松本 直樹	矢内 勲	高 27 10名 115	優子	良文					
境野 金井 小暮 塚本 山口 草 植 新 長 水 加 岩 森 高 29 34名 153	石井 文子	中村 一彦	塚越 正江	風間 睦	橋本 昌雄	高橋 好子	小倉 正貴	小野 順子	高 28 6名 60	田邊 恵子	小林 伸吾	須藤 浩通	田島 秀子	安積 さつき	矢部 一臣	高 29 34名 153	森下 安治	岩上 雅久	加藤 雅久	水出 邦江	長谷部 文雄	深雪	新井 深雪	植原 千秋	草間 代子	山口 郁夫	住夫	敏明	寿人	境野 巖							
津久井 宮下 高 31 4名 50	飯島 誠	関口 裕美	富田 由雄	西村 節子	富岡 照雄	坂本 伸一	瀬下 町子	松浦 智重子	江森 清之	根本 武	小林 秀行	清水 正子	富田 貴代美	上田 八千代	榊田 百合子	金田 悦子	矢島 千鳥	浜野 道子	鈴木 幸治	高 30 6名 50	竹内 京美	中田 裕之	下山 かほる	塚本 登美子	内田 早苗	峯岸 則之	高 31 4名 50	康浩	宮下 誠								
立石 木村 黒沢 桑 高 34 4名 60	齊藤 健一	高 32 8名 95	笠原 則夫	百田 祥子	梅沢 良典	今井 良典	宮部 一郎	倉部 高	桜沢 和美	今井 良典	高 33 7名 65	関根 昭	百田 容子	俣田 充	高橋 千春	高橋 浩文	竹村 勇一	五十嵐 隆子	高 34 4名 60	桑原 津子	黒沢 紀子	木村 栄一	立石 博敏														
齊藤 松本 杉浦 大山 青木 田島 木村 宮部 高 38 11名 100	高 35 4名 50	百田 成良	金沢 淑浩	本郷 敏子	国本 剛史	高 36 6名 50	石井 久美子	金井 克己	宮部 正弘	笠原 和久	桜沢 協子	大坂 恵子	高 37 2名 60	大島 吉雄	堀口 伊代子	高 38 11名 100	直美	秀樹	博文	雅人	智代	麗子	博														

近藤 井上 齊藤 前川 山中 田村 砂川 小山 高 41 政人 征司 宏賢 英寿 登志子 昭子 恵理子 德秀 光夫 10名 110	中里 奥原 中 堀口 大山 飯塚 細野 小安 小林 高橋 高 40 宏之 弘美 時子 久江 敦裕 由美 道昭 昭円 哲也 広子 90	齊藤 新井 保泉 高 39 稔 清純 昭彦 3名 50	佐藤 智恵子 戸矢 光春
---	---	-----------------------------------	--------------

須藤 松本 飯塚 橋口 堀口 江口 大山 下山 設楽 浅見 関根 岩片 松谷 木村 高橋 落合 穂山 高 43 早苗 孝志 頼子 収子 紀子 宗希 仁美 友子 猛 一郎 弘 正 浩一 17名 165	飯嶋 高橋 根岸 安田 中沢 久米 岡部 今井 高 42 文子 美和 さおり 枝美 洋史 潤平 美穂子 知子 孝子 9名 85	戸矢 光春
---	---	-------

岡田 渡辺 木村 定 4 松本 定 3 飯島 小暮 定 2 堀口 定 1 岩丸 細田 仙波 田本 吉田 近藤 庄田 関口 吉田 新井 木村 柿沢 堀内 高 44 宗嘉 吉和 一郎 3名 彪 50 政一 春男 2名 富美 1名 剛実 礼子 良和 雅俊 新治 智美 一三 康代 直仁 栄 13名 140	石塚 定 11 高田 小林 田中 福田 定 9 長滝 定 8 久米 堀口 福嶋 加藤 篠田 定 7 荻野 高橋 定 6 中野 福島 定 5 一成 1名 幸男 英夫 伸一 修行 4名 忠雄 1名 宗助 林治 興 慧悟 一兄 5名 幸義 二三 2名 岩男 肇 2名 10	青池 定 21 大山 定 20 松崎 倉林 青池 立川 田島 定 19 岩丸 山田 阪本 定 18 中田 間正 定 17 小川 定 13 新井孝次郎 定 12 良二 1名 清 10 泰子 伸幸 正行 泰雄 勇八 5名 彰男 孝治 公一 3名 正之 実 2名 敏昭 1名 10 1名 10	定 38 1名 10
---	---	--	---------------

飯島 境野 加藤 平山 新島 青山 齊藤 山口 小野 田中 新井 間庭 中原 三枝 茂木 中里 柳 関口 現職員 32名 弘子 素行 由利 美子 隆彦 正和 祐子 茂子 和子 偉道 賢 尚子 茂夫 守 和子 良平 紀雄 善行 730	石田 定 42 杉山喜久江 定 40 上田 定 38 広明 1名 10 猛夫 1名 10	小柴 信清
---	---	-------

飯島 境野 加藤 平山 新島 青山 齊藤 山口 小野 田中 新井 間庭 中原 三枝 茂木 中里 柳 関口 現職員 32名 弘子 素行 由利 美子 隆彦 正和 祐子 茂子 和子 偉道 賢 尚子 茂夫 守 和子 良平 紀雄 善行 730	細井 町田 柳田 南部 新井 五十嵐 粟生 高橋 茂木 内野 平賀 倉本 長井 古 藤 岡 大 狩 田 現職員 32名 多 持 司 明 行 雄 夫 芳 夫 光 男 久 世 一 辰 次 五 郎 保 正 保 雄 菊 乃 子 幸 1,190	細田 芳野 中村 洪谷 石井 山崎 高柳 大木 四方 新井 国島 小柴 明 勇 晴美 正敏 敏郎 泰彦 和夫 馨 清一 修一 初枝 信幸 清
---	--	---

飯島 境野 加藤 平山 新島 青山 齊藤 山口 小野 田中 新井 間庭 中原 三枝 茂木 中里 柳 関口 現職員 32名 弘子 素行 由利 美子 隆彦 正和 祐子 茂子 和子 偉道 賢 尚子 茂夫 守 和子 良平 紀雄 善行 730	細井 町田 柳田 南部 新井 五十嵐 粟生 高橋 茂木 内野 平賀 倉本 長井 古 藤 岡 大 狩 田 現職員 32名 多 持 司 明 行 雄 夫 芳 夫 光 男 久 世 一 辰 次 五 郎 保 正 保 雄 菊 乃 子 幸 1,190	伊予部 神田 永田 藤田 岩田 原 田 杉 神 高 小 日 江 小 中 大 小 小 掘 茂 高 細 田 藤 多 齊 阿 小 杉 大 石 高 大 四 新 国 小 和子 新一 博 仁 郎 明 行 雄 夫 芳 夫 光 男 久 世 一 辰 次 五 郎 保 正 保 雄 菊 乃 子 幸 1,190	武藤 信清
---	--	--	-------

飯島 境野 加藤 平山 新島 青山 齊藤 山口 小野 田中 新井 間庭 中原 三枝 茂木 中里 柳 関口 現職員 32名 弘子 素行 由利 美子 隆彦 正和 祐子 茂子 和子 偉道 賢 尚子 茂夫 守 和子 良平 紀雄 善行 730	細井 町田 柳田 南部 新井 五十嵐 粟生 高橋 茂木 内野 平賀 倉本 長井 古 藤 岡 大 狩 田 現職員 32名 多 持 司 明 行 雄 夫 芳 夫 光 男 久 世 一 辰 次 五 郎 保 正 保 雄 菊 乃 子 幸 1,190	伊予部 神田 永田 藤田 岩田 原 田 杉 神 高 小 日 江 小 中 大 小 小 掘 茂 高 細 田 藤 多 齊 阿 小 杉 大 石 高 大 四 新 国 小 和子 新一 博 仁 郎 明 行 雄 夫 芳 夫 光 男 久 世 一 辰 次 五 郎 保 正 保 雄 菊 乃 子 幸 1,190	武藤 信清
---	--	--	-------

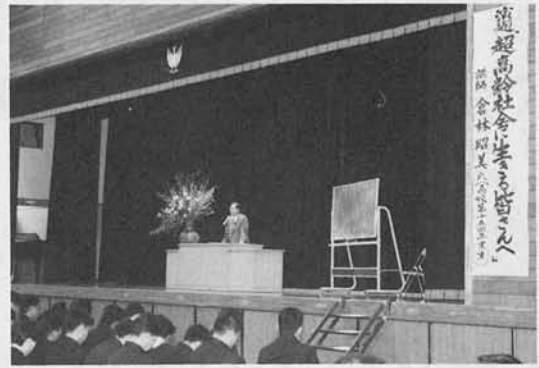
飯島 境野 加藤 平山 新島 青山 齊藤 山口 小野 田中 新井 間庭 中原 三枝 茂木 中里 柳 関口 現職員 32名 弘子 素行 由利 美子 隆彦 正和 祐子 茂子 和子 偉道 賢 尚子 茂夫 守 和子 良平 紀雄 善行 730	細井 町田 柳田 南部 新井 五十嵐 粟生 高橋 茂木 内野 平賀 倉本 長井 古 藤 岡 大 狩 田 現職員 32名 多 持 司 明 行 雄 夫 芳 夫 光 男 久 世 一 辰 次 五 郎 保 正 保 雄 菊 乃 子 幸 1,190	伊予部 神田 永田 藤田 岩田 原 田 杉 神 高 小 日 江 小 中 大 小 小 掘 茂 高 細 田 藤 多 齊 阿 小 杉 大 石 高 大 四 新 国 小 和子 新一 博 仁 郎 明 行 雄 夫 芳 夫 光 男 久 世 一 辰 次 五 郎 保 正 保 雄 菊 乃 子 幸 1,190	武藤 信清
---	--	--	-------

飯島 境野 加藤 平山 新島 青山 齊藤 山口 小野 田中 新井 間庭 中原 三枝 茂木 中里 柳 関口 現職員 32名 弘子 素行 由利 美子 隆彦 正和 祐子 茂子 和子 偉道 賢 尚子 茂夫 守 和子 良平 紀雄 善行 730	細井 町田 柳田 南部 新井 五十嵐 粟生 高橋 茂木 内野 平賀 倉本 長井 古 藤 岡 大 狩 田 現職員 32名 多 持 司 明 行 雄 夫 芳 夫 光 男 久 世 一 辰 次 五 郎 保 正 保 雄 菊 乃 子 幸 1,190	伊予部 神田 永田 藤田 岩田 原 田 杉 神 高 小 日 江 小 中 大 小 小 掘 茂 高 細 田 藤 多 齊 阿 小 杉 大 石 高 大 四 新 国 小 和子 新一 博 仁 郎 明 行 雄 夫 芳 夫 光 男 久 世 一 辰 次 五 郎 保 正 保 雄 菊 乃 子 幸 1,190	武藤 信清
---	--	--	-------

飯島 境野 加藤 平山 新島 青山 齊藤 山口 小野 田中 新井 間庭 中原 三枝 茂木 中里 柳 関口 現職員 32名 弘子 素行 由利 美子 隆彦 正和 祐子 茂子 和子 偉道 賢 尚子 茂夫 守 和子 良平 紀雄 善行 730	細井 町田 柳田 南部 新井 五十嵐 粟生 高橋 茂木 内野 平賀 倉本 長井 古 藤 岡 大 狩 田 現職員 32名 多 持 司 明 行 雄 夫 芳 夫 光 男 久 世 一 辰 次 五 郎 保 正 保 雄 菊 乃 子 幸 1,190	伊予部 神田 永田 藤田 岩田 原 田 杉 神 高 小 日 江 小 中 大 小 小 掘 茂 高 細 田 藤 多 齊 阿 小 杉 大 石 高 大 四 新 国 小 和子 新一 博 仁 郎 明 行 雄 夫 芳 夫 光 男 久 世 一 辰 次 五 郎 保 正 保 雄 菊 乃 子 幸 1,190	武藤 信清
---	--	--	-------

飯島 境野 加藤 平山 新島 青山 齊藤 山口 小野 田中 新井 間庭 中原 三枝 茂木 中里 柳 関口 現職員 32名 弘子 素行 由利 美子 隆彦 正和 祐子 茂子 和子 偉道 賢 尚子 茂夫 守 和子 良平 紀雄 善行 730	細井 町田 柳田 南部 新井 五十嵐 粟生 高橋 茂木 内野 平賀 倉本 長井 古 藤 岡 大 狩 田 現職員 32名 多 持 司 明 行 雄 夫 芳 夫 光 男 久 世 一 辰 次 五 郎 保 正 保 雄 菊 乃 子 幸 1,190	伊予部 神田 永田 藤田 岩田 原 田 杉 神 高 小 日 江 小 中 大 小 小 掘 茂 高 細 田 藤 多 齊 阿 小 杉 大 石 高 大 四 新 国 小 和子 新一 博 仁 郎 明 行 雄 夫 芳 夫 光 男 久 世 一 辰 次 五 郎 保 正 保 雄 菊 乃 子 幸 1,190	武藤 信清
---	--	--	-------

飯島 境野 加藤 平山 新島 青山 齊藤 山口 小野 田中 新井 間庭 中原 三枝 茂木 中里 柳 関口 現職員 32名 弘子 素行 由利 美子 隆彦 正和 祐子 茂子 和子 偉道 賢 尚子 茂夫 守 和子 良平 紀雄 善行 730	細井 町田 柳田 南部 新井 五十嵐 粟生 高橋 茂木 内野 平賀 倉本 長井 古 藤 岡 大 狩 田 現職員 32名 多 持 司 明 行 雄 夫 芳 夫 光 男 久 世 一 辰 次 五 郎 保 正 保 雄 菊 乃 子 幸 1,190	伊予部 神田 永田 藤田 岩田 原 田 杉 神 高 小 日 江 小 中 大 小 小 掘 茂 高 細 田 藤 多 齊 阿 小 杉 大 石 高 大 四 新 国 小 和子 新一 博 仁 郎 明 行 雄 夫 芳 夫 光 男 久 世 一 辰 次 五 郎 保 正 保 雄 菊 乃 子 幸 1,190	武藤 信清
---	--	--	-------



講演会を 拝聴して

高校第13回卒業

小林八重子(育英委員)

平成4年11月21日(土)午前10時より「超高齢社会に生きる皆さんへ」と題しまして同窓会第6回講演会が開催されました。お話し下さいましたのは第15回卒業生の倉林昭美氏、先生は見玉町金屋に有ります特別養護老人ホーム「オルトビオス」の施設長をなさって居られる方ですが、栄養学の研究等各方面でも幅広く勢力的にご活躍

なさって居られる経歴の持主でもあります。先生にとっても新装なつたこの体育館での講演は昔を思い出さず物で大変懐しかったに違ひありません。生徒会長だった彼が創立四十周年の折、取毀された前の体育館の落成式の際、当時栗原知事の祝辞に対して述べた謝辞がその時の新聞の話題にも乗ったという思い出深いお話と縁ある講演ともなつたようです。折しも創立七十周年の時に、この記念すべきすばらしい講演を拝聴出来ましたことは我々同窓生はもとより生徒諸君にとつても大変意義深いものとなつたに相違ありません。

演題にもありましたように人口の高齢化問題は私達が逆らつて通れない関心事であります。二〇一八年には四人に一人が年寄りという目前に迫り来る切実な現実をひしと受け止めない訳にはいかないのです。人間は必ず老いていく、そして又いつどこでどういう境遇に見舞われるか分かりません。その時にあわてるのでは遅く今からその心構え、対処の仕方等、知識が必要であります。そういふ意味でこの講演はもちろん、先生のお仕事と勢力的なご活躍振りには敬服するばかりであります。若い生徒諸君も大いに先生を見習つて意気洋々な精神を福祉に目を向けて頑張ってもらいたいものです。先生よいお話をどうも有難うございました。

『母校応援歌』募集!!

平成4年度より体育コース発足、対外試合等に於いて応援歌がなく在校生が淋しがつております。同窓会では、応援歌制定にむけスタートしましたので、ふるってご応募下さるようお願い致します。応募用紙はご自由に。平成5年12月31日までに事務局宛お送り下さい。

催しもの お知らせ

◎ 講演会

と き 平成5年11月26日(木)
午後1時~3時まで
ところ 母校・体育館
講師 飯塚範子氏 高校第20回卒業生、スタイリスト
※申込切 平成5年10月30日

◎ 新年会

と き 平成6年2月5日(土)
午後4時より

ところ 本庄市・駅南口徒歩3分
埼玉ランドホテル
かいひ 5、000円
※申込切 6年1月20日

◎ 総会 (平成6年度)

と き 平成6年4月24日(日)
午後3時より
ところ 母校・視聴覚教室 なお総会終了後「懇親会」を母校の食堂にて(かいひ2、000円)で行います。

※申込切 6年3月24日

▲催しもの申込及連絡先
石井敏郎(事務局) 兄玉高校内
0495(72) 1591

編集後記

樹々の緑も一段と深くなつてきました。四季をとおして、樹木は風格と落ち着きを最も感じさせる時でもあります。そんなときに、「時の針」第9号を発行することができました。執筆いただいた方々に感謝申し上げます。本年は記念事業の総仕上げの年であり、皆様には後輩や母校発展充実のため、更なるご支援を重ねてお願いいたします。年輪70年を経て樹木を想うとき、どっしりとした存在感のあるものでありたいと願っております。